

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 みんなで話をつなげよう「そうだんにのってください」

2 単元の目標

身近なことや体験したことなどから話題を決め、互いの話に関心を持ち、共通点、相違点、事柄の順序などの情報と情報との関係を理解しながら話を聞いたり、相手の発言を受けて話をつないだりすることができる。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

低学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	・自分の思いを友達に伝える力		① 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	① 積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 ② 身に付けた力を今後の学びに生かそうとしている。
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	・周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く力		② 「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあてをもって実行する力	① 共通、相違、事柄など情報と情報との関係について理解している。		
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	・自分の課題に気づき、次に生かそうとする力			

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

(1) 児童の実態と単元観

第2学年の2学期になり、1学期よりも落ち着いて学習活動に取り組めるようになってきている。児童同士だけの話し合いでは、円滑に進まなかった係活動も教師が関わり、方向性を示すことで取り組めるようになってきている。授業では、多くの児童が積極的に発言する。一方で、知識技能的な問いに対する発言は多いが、自分の考えを話す思考的な部分では、苦手意識をもっている児童も一定数存在する。

1学期に実施したキャリアアンケートから見える児童の実態として、肯定的な回答が平均して低い項目が「自己理解・自己管理」であった。また、全アンケート項目で一番肯定的な回答が低いのが「人間関係形成・社会形成能力」の「自分の考えをみんなの前で話せる」であった。

本単元では、相談したいことを話題に、話し合いの基盤となる「互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて、話をつなぐこと」の力を付けるために、グループで相談する言語活動を行う。一対一の対話で尋ねたり応答したりする経験は、1年生から積み重ねている。それらの学習を土台として、友達の話したいことは何かを考え、友達の考えのよいところや自分の考えと同じところ、違うところはどこかに気を付かせながら話し合わせたい。そのために、まず、「人の話を聞く、受け止めてうなずき、自分の考えを言う」、という対話の基本を繰り返して身に付けさせたい。

キャリア教育の視点では、この単元を通して特に「人間関係形成・社会形成能力」を育てていきたい。そのために、本単元では、友達の相談事に対して自分の考えを伝えたり、自分の相談事に対してアドバイスを受け取ったりして、友達と話すことの有用性を得られるようにする。そのことにより、グループで自信をもって話せるようになることで、課題である「自分の考えをみんなの前で話す」ことに苦手意識がある児童が友達と関わる力を育むことで、改善できると考える。

(2) 低学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力



(3) 本単元で目指す児童像を実現するための手立てと関連する夢4

<p>【手だて1】: 意欲的に活動しようとする主体性 (=挑戦) を引き出すために</p> <p>○ 今の自分を見つめ、自分事として課題を設定する。</p> <p>これまでの経験や国語の学習、学校生活、夢4ファイルを活用して自分の生活を振り返り、自己の相談事を選択、決定する。自分がより必要と思う内容を相談させるために、多方面から考えられるようにする。</p>	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】: 学びを深め「できる」を実感させるために</p> <p>○ 活動の後の振り返りを通して、話し合いを深める。</p> <p>話し合い活動の段階を教師と学級で事前に行い、振り返りをして話し合いの技能を高める。また、グループの話し合いも2時間に分けて行い、その都度振り返ることで、話し合いの質を向上させることを狙う。</p> <p>○ 話型を示し、話し合いの充実を図る。</p> <p>すべての児童が自信をもって話し合えたと思えるように、より話し合いを充実させるために話型を示すことで話し合いが深まることを狙う。相手の発言を受けて話をつなぐために、質問する、復唱して確かめる、共感の気持ちを表す、感想を言うなどの項目について言い方を示し、話し合いを通して考えが広がったり、深まったりができるようにする。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 指導計画（全7時間）

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	単元の目標を確認して学習の見通しをもつ。	○友達と相談してよかったことを出し合う。 ○相談される側になったときのことを想像し、心配なことについての考えを出し合う。 ○単元の目標を設定し、学習の見通しをもつ。	◆相談する側とされる側に立ち、友達と話し合うことについての問いをもつことができるようにする。 ◆問いを基に、話をつなげながら話し合うという単元の目標を設定する。	【主①】 
高める	2	友達に相談する話題を決める。	○友達に相談する話題を決める。	◆ <u>相談内容を選ぶ際は、夢4ファイルを見ながら友達に相談したい内容を決めるようにする。</u>	【思・判・表②】 
	3・4	話し合いの進め方確かめ、どんなことに気をつけて話し合えばよいかを考える。	○話し合いの進め方、みんなと話し合うときに大事なこと、話をつなげるときに使うとよい言葉を考える。 ○全体で教師の相談ごとについて話し合いをし、進め方を体験する。	◆話し合いの仕方、意見の伝え方、話の聞き方などを理解できるようにする。	【思・判・表①】 【知・技①】  
	5・6 (本時)	グループで話し合う。	○グループで話し合いをする。 ○話し合いをして困ったことを共有する。	◆話をつなげられていないグループには、板書を一緒に確認しながら、話をつなぐ流れを確かめる。	【思・判・表①】 【主①】 
深める	7	学習を振り返る。	○学習を通して、できるようになったことや考えたことを振り返る。	◆ <u>話し合い活動は学級活動や日常生活でも活用できることをおさえる。</u>	【主②】 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（7時間扱いの6時間目）

(1) 本時の目標（その教科の目標）

相手の発言を受け止めながら自分の考えを伝え、話をつながげながら話し合することができる。

(2) キャリア教育の重点

◎自分の考えを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする話し合い活動を通して、友達と関わるよさを感じ、自分の思いを友達に伝える力を育む。【人間関係形成・社会形成能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	<p>1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの仕方が分かりました。 ・意見を言うときは、自分の考えとその理由を言いたいです。 	【全体】	<p>○友達の学習感想を聞き、意欲をもって話し合いに臨めるようにする。</p> <p>○<u>どんな力を付けられそうか、夢4の視点で価値付ける。</u></p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて 話し合うときにだいじなことに気をつけて、話し合おう。</p> </div>			
展開 30分	<p>2 話し合うときに大事なことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話し合いの進め方 話題を確かめる→考えを出し合う→どうすることにするのか伝える</p> <p>みんなで話し合うとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えとその理由を言う。 ・話している人を見て、うなずきながら聞く。 ・いい考えと思ったら、そのことを伝える。 ・友達の話を最後まで聞く。 <p>話をつなげるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんに付け足します。 ・どうして、——なのですか。 </div>	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書 	<p>○話し合いの進め方と意見の伝え方を確認する。</p>
まとめ 5分	<p>3 話題に沿って、話し合う。</p> <p>4 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんが、「それはいい考えですね」と言っていたのがいいなと思いました。 ・友達の話を聞いて、アドバイスができて嬉しかったです。 ・友達の意見を聞いて、いい方法がたくさん見付かりました。 	<p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>【全体】→【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	<p>○話し合いが上手に進められないグループには、板書を確認しながら、話し合いの仕方を支援する。</p> <p>●<u>相手の発言を受け止めながら自分の考えを伝え、話をつながげながら話し合することができる。【思】</u></p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>○よい意見の伝え方を共有したり話し合いのよさを実感できたりできるようにし、これからの話し合いへの意欲や自信につながるようにする。</p>

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

みんなで話をつなげよう

そうだんにのってください



めあて 話し合うときにだいじなことに気をつけて、話し合おう。

話し合いをすすめるとき

- ・ そうだんする人が、そうだんすることをつたえる。
- ・ 一人ずつ、じゆんに考えを出し合い、つなげる。
- ・ さいごにどうすることにしたのかを言う。

みんなで話し合うとき

- ・ 考えとそのりゆうを言う。
- ・ 話している人を見て、うなずきながらさいごまで聞く。
- ・ じぶんの考えと同じだったり、いい考えだったりしたら、そのことをみんなにつたえる。
- ・ くわしく知りたいことをしつもんする。

話をつなげるときのことば

《考えをつけくわえる》

- ・ ○○さんがーと言っていたことについて、わたしは、ーと思います。
- ・ ○○さんの話につけたします。

《しつもんする》

- ・ どうしてーですか。
- ・ それは、ーということですか。

8 実践を終えて

成果

- ・ 夢4ファイルを活用したことで自分がより必要と思う内容の相談事を選ぶことができた。
- ・ 親身になってお互いの相談内容を聞いたり、アドバイスをしてあげたりすることができた。
- ・ 話し合いの流れや具体的な話型が板書に掲示されていたことにより、見通しをもって話し合い活動に取り組むことができた。
- ・ 授業を重ねるごとに使ったつなげ言葉を吹き出しに掲示して共有することで児童たちが積極的にその言葉を使うことにつながった。
- ・ グループの話し合いの時間を2時間に分けて行うことで話し合いの質を向上させることができた。

課題

- ・ 話し合いを深めるために相談内容が異なるグループと学力的な部分を考慮してグループ編成を行ったが、グループによって話し合いの深まりに差があった。
- ・ 話し合い活動を日常化し定着していくには日々の体育や係等学校生活全体で行っていく必要がある。